

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公開番号】特開2003-210823(P2003-210823A)
【公開日】平成15年7月29日(2003.7.29)
【出願番号】特願2002-18113(P2002-18113)
【国際特許分類第7版】
A 6 3 F 7/02
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 5 5 B

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月21日(2005.1.21)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【書類名】明細書
【発明の名称】遊技機
【特許請求の範囲】

【請求項1】 遊技媒体を払い出す払出口と、該払出口から払い出された遊技媒体を貯留する受皿部とを備えた遊技機において、

前記受皿部の近傍に、遊技媒体の運搬容器を係合させて保持するための係合手段を設け、その係合手段は、前記運搬容器と係合可能な使用時位置と、その使用時位置よりも受皿部寄りに設定された非使用時位置との間で切替え配置可能に設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】 遊技媒体を払い出す払出口と、該払出口から払い出された遊技媒体を貯留する受皿部とを備えた遊技機において、

前記受皿部の近傍に、遊技媒体の運搬容器を係合させて保持するための係合手段を設け、その係合手段は、前記受皿部に対して高さ変更可能に設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項3】 遊技媒体を払い出す払出口と、該払出口から払い出された遊技媒体を貯留する受皿部とを備えた遊技機において、

前記受皿部の近傍に、遊技媒体の運搬容器を係合させて保持するための係合手段を設け、その係合手段は、前記受皿部に対して高さ変更可能に設けられ、更に、前記係合手段は左右一対のフックから構成され、これら一対のフックは前記受皿部に対して両フック間の間隔を変更可能に設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項4】 遊技媒体を払い出す払出口と、該払出口から払い出された遊技媒体を貯留する受皿部とを備えた遊技機において、

前記受皿部を構成する壁部の一部には可動壁が開閉可能に設けられており、その可動壁には、遊技媒体の運搬容器を係合させて保持するための係合手段が、当該可動壁を開いたときに使用可能となるように設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項5】 遊技媒体を払い出す払出口と、該払出口から払い出された遊技媒体を貯留する受皿部とを備えた遊技機において、

前記受皿部を構成する壁部の一部には可動壁が一回転軸を中心として開閉回動可能に設けられており、その可動壁には、遊技媒体の運搬容器を係合させて保持するための係合手段が、当該可動壁を開いたときに使用可能となるように設けられており、更に、当該可動壁の回動範囲を規制するための規制部が設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項 6】 遊技媒体を払い出す払出口と、該払出口から払い出された遊技媒体を貯留する受皿部とを備えた遊技機において、

前記受皿部を構成する壁部の一部には可動壁が一回転軸を中心として開閉回動可能に設けられており、その可動壁には、遊技媒体の運搬容器を係合させて保持するための係合手段が、当該可動壁を開いたときに使用可能となるように設けられており、

更に、当該可動壁の回動範囲を規制するための規制部が設けられており、その規制部には、受皿部を構成する壁部の一部に当接することで可動壁を閉位置に位置決めするための第 1 の規制面と、受皿部を構成する壁部の一部に当接することで可動壁を開位置に位置決めするための第 2 の規制面とが形成されていることを特徴とする遊技機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、遊技媒体の受皿部を備えた遊技機に関する。

【0002】

【従来の技術】

一般に、パチンコ機（遊技媒体はパチンコ玉）やスロットマシン（遊技媒体はメダル又はコイン）等の遊技機の前面には、遊技機から払い出される遊技媒体を一時貯留しておくための受皿部が設けられている。受皿部が満杯状態になった場合やゲームを終了する場合、遊技者はその受皿部からいわゆるドル箱（遊技媒体の運搬容器）に遊技媒体を移し替えて、遊技媒体を運ぶのが通例である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、受皿部からドル箱への移し替え時において遊技者は、例えば、膝の上にドル箱をのせると共に片方の手でドル箱を支えておき、残る片方の手で受皿部からドル箱に遊技媒体を移し替えるという苦しい状態での作業を強いられていた。特にドル箱が重くなると、膝と片手だけでドル箱を支えきれないこともあり、遊技者にとって悩みの種となっていた。

【0004】

本発明の目的は、受皿部から運搬容器への遊技媒体の移し替え作業を楽にすることができる遊技機を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本欄では請求項に記載の発明のほかに、本発明の更に好ましい態様や追加的構成要件についても列挙し、必要に応じて作用等に関する簡単な注釈を加える。

【0006】

手段 1. 遊技媒体の受皿部を備えた遊技機において、前記受皿部の近傍に、遊技媒体の運搬容器を係合させて保持するための係合手段を設けたことを特徴とする遊技機。

【0007】

手段 1 によれば、受皿部の近傍に設けた係合手段に遊技媒体の運搬容器を係合させて保持することができるので、従来例のように膝や手で運搬容器を支える必要が無く、受皿部から運搬容器への遊技媒体の移し替え作業が楽になる。

【0008】

手段 2. 前記遊技媒体の運搬容器を係合手段に係合させたとき、その運搬容器の上縁が受皿部の上縁と同等又はそれ以下の高さとなるように、係合手段が位置決めされていることを特徴とする手段 1 に記載の遊技機。

【0009】

手段 2 によれば、運搬容器の係合手段への係合時に、運搬容器の上縁が受皿部の上縁と同等又はそれ以下の高さとなるため、受皿部から運搬容器へ遊技媒体を移し替える際に高い障壁を乗り越える必要が無く、遊技媒体の移し替え作業が楽になる。

【0010】

手段３．前記係合手段は、前記運搬容器と係合可能な使用時位置と、その使用時位置よりも受皿部寄りに設定された非使用時位置との間で切替え配置可能に設けられていることを特徴とする手段１又は２に記載の遊技機。

【００１１】

手段３によれば、係合手段は使用時位置と非使用時位置との間で切替え配置可能となっており、運搬容器を係合手段に係合させる必要がない場合には、係合手段を使用時位置よりも受皿部寄りに設定された非使用時位置に配置することができる。つまり、係合手段の非使用時には、使用時位置よりも受皿部寄り位置に係合手段を配置でき、係合手段が遊技中の遊技者の邪魔にならないようにすることができる。

【００１２】

なお、上記手段３における非使用時位置としては、係合手段が受皿部の一側面に接触する位置や、係合手段が受皿部内に収納される位置等を例示することができる。

【００１３】

手段４．前記係合手段は、前記受皿部に対して高さ変更可能に設けられていることを特徴とする手段１に記載の遊技機。

【００１４】

手段４によれば、係合手段を受皿部に対して高さ変更可能とすることで、運搬容器の種類にかかわらず、個々の運搬容器に適した係合手段の高さを適宜設定することが可能となる。その結果、受皿部から運搬容器への遊技媒体の移し替え作業を楽にすることができる。

【００１５】

手段５．前記受皿部の一側面には複数の係合部が垂直方向に並んで設けられており、前記係合手段はそれら複数の係合部に対して着脱可能に構成されることにより、前記受皿部に対して高さ変更可能となっていることを特徴とする手段４に記載の遊技機。

【００１６】

手段５によれば、受皿部の複数の係合部に対して係合手段を着脱可能とすることにより、係合手段を受皿部に対して高さ変更可能とすることが容易になる。

【００１７】

手段６．前記係合手段は左右一対のフックから構成され、これら一対のフックは前記受皿部に対して両フック間の間隔を変更可能に設けられていることを特徴とする手段１，４又は５に記載の遊技機。

【００１８】

手段６によれば、係合手段たる左右のフック間隔が変更可能であるため、運搬容器の種類にかかわらず、個々の運搬容器に適したフック間隔を適宜設定することが可能となる。

【００１９】

手段７．遊技媒体の受皿部を備えた遊技機において、前記受皿部を構成する壁部の一部には可動壁が開閉可能に設けられており、その可動壁には、遊技媒体の運搬容器に係合させて保持するための係合手段が、当該可動壁を開いたときに使用可能となるように設けられていることを特徴とする遊技機。

【００２０】

手段７によれば、可動壁を開いて係合手段を使用可能とすることにより、当該係合手段に遊技媒体の運搬容器に係合させて保持することが可能となる。それに加えて、受皿部を構成する壁部の一部を開閉式の可動壁としたことで、受皿部に貯留された遊技媒体を運搬容器に移し替える際の障壁を小さくする（又は障壁を無くす）ことができる。従って、受皿部から運搬容器への遊技媒体の移し替え作業が楽になる。

【００２１】

手段８．前記可動壁は一回動軸を中心として開閉回動可能に設けられており、その可動壁には、当該可動壁の回動範囲を規制するための規制部が設けられていることを特徴とする手段７に記載の遊技機。

【００２２】

手段 8 によれば、可動壁に設けた規制部により、可動壁を開閉する際の回動範囲が所定範囲内に規制され、その結果、可動壁の開位置又は開位置への位置決めが確実となる。また、可動壁が開位置に確実に保持されることで、受皿部から運搬容器への遊技媒体の移し替えがし易くなる。

【 0 0 2 3 】

手段 9、前記規制部には、受皿部を構成する壁部の一部に当接することで可動壁を開位置に位置決めするための第 1 の規制面と、受皿部を構成する壁部の一部に当接することで可動壁を開位置に位置決めするための第 2 の規制面とが形成されていることを特徴とする手段 8 に記載の遊技機。

【 0 0 2 4 】

手段 9 によれば、可動壁に設けた規制部に第 1 及び第 2 の規制面を形成することで、可動壁を開位置又は開位置で確実に位置決めすることが可能となる。

【 0 0 2 5 】

なお、上記手段 1 ～ 5、7 ～ 9 において、「前記係合手段が複数のフックで構成されること」、又は、「前記係合手段が単一のレール状フックで構成されること」は好ましい（後記各実施形態を参照されたし）。

【 0 0 2 6 】

【発明の実施の形態】

以下に本発明をスロットマシンに具体化したいくつかの実施形態を図面を参照して説明する。

【 0 0 2 7 】

（第 1 実施形態）

図 1 及び図 2 に示すように、スロットマシン本体 10 の前面側には受皿部 12 が設けられている。この受皿部 12 は、スロットマシン本体 10 に形成されたメダルの払出口 11 に隣接配置されており、遊技媒体としてのメダルを一時貯留する。この受皿部 12 の前側の一側面 12a には、係合手段として左右一対のフック 13 が設けられている。左右フック間の間隔は、運搬容器としてのドル箱 20（一点鎖線で示す）の長さにはほぼ対応する（図 2 参照）。各フック 13 の先端爪部は、ドル箱 20 の上端周縁部に下向きに折り返し形成された返し部 21 に対して係合可能に形成されている。このため、図 1 及び図 2 に示すように両フック 13 の先端爪部にドル箱の返し部 21 を係合させることで、当該フック 13 を介して受皿部の前側面 12a にドル箱 20 を引っ掛け保持することができる。更に左右のフック 13 にドル箱 20 を係合させたときに、そのドル箱 20 の上縁が受皿部 12 の上縁と同じ高さになるように、両フック 13 の取付け高さが決められている。

【 0 0 2 8 】

第 1 実施形態によれば、左右のフック 13 に対してドル箱の返し部 21 を係合させることにより、受皿部 12 の前側にドル箱 20 を保持することができる。このため、従来例のように遊技者が膝や手を使ってドル箱 20 を受皿部 12 の近くに支える必要が無い。また、遊技者は両方の手があくので、両手を使って受皿部 12 からドル箱 20 にメダルを移し替えることができる。故に、受皿部 12 からドル箱 20 へのメダルの移し替え作業がたいへん楽になり、遊技者はメダル移し替え時の肉体的苦痛（又は重労働）から解放される。

【 0 0 2 9 】

（第 2 実施形態）

上記第 1 実施形態では、フック 13 を受皿部 12 の前側に突出状態で固定したが、図 3（A）及び（B）に示すように、係合手段としての各フック 13（一方のみ図示）を受皿部 12 に対して離接可能（又は出没可能）に設けてもよい。即ち、フック 13 の非使用時には、図 3（A）に示すように、フック 13 の先端爪部が受皿部の前側面 12a に密接する待機位置（非使用時位置）に各フック 13 を配置する。他方、フック 13 の使用時には、図 3（B）に示すように、フック 13 の先端爪部が受皿部の前側面 12a から所定距離だけ離れた突出位置（使用時位置）に各フック 13 を配置し、図 1 の場合と同様、フック 13 にドル箱 20 を係合可能とする。なお、図 3 では、各フック 13 を使用時位置に切替

え配置したときに、ドル箱 20 の上縁が受皿部 12 の上縁よりも若干低くなるように、両フック 13 の取付け高さが設定されている。

【 0 0 3 0 】

第 2 実施形態によれば、ドル箱 20 を引っ掛け保持する必要があるときだけフック 13 を突出位置（使用時位置）に配置し、ドル箱 20 を保持する必要がないときにはフック 13 を待機位置（非使用時位置）に配置できるため、フックの非使用時においてフック 13 が邪魔になったり、遊技者の衣服がフック 13 に引っ掛かったりすることがない。なお、フック 13 を待機位置に切替え配置したときに、フック 13 の先端爪部の外表面が受皿部の前側側面 12 a と面一となるまでフック 13 が受皿部 12 内に収納されるように構成してもよい。

【 0 0 3 1 】

（第 3 実施形態）

図 4（A）及び（B）に示すように、スロットマシン本体 10 に設けられた受皿部 12 の前側面 12 a には、4 箇所（図 4（A）参照）にフック用の取付け領域 31 a, 31 b, 32 a, 32 b が設定されている。これら 4 箇所の取付け領域にあっては、外側二つの取付け領域 31 a, 31 b が一対をなし、内側二つの取付け領域 32 a, 32 b が一対をなす。図 4（B）に示すように、取付け領域 31 a, 31 b, 32 a, 32 b の各々には、係合部としての 5 つの係合凹部 33 a ~ 33 e が垂直方向に略等間隔で並んで形成されている。各係合凹部 33 a ~ 33 e には、係合手段たるフック 13 の基端部に設けられた係合凸部 13 a が係合可能となっている。即ちフック 13 は、各取付け領域の係合凹部 33 a ~ 33 e のいずれに対しても着脱可能となっている。尚、図 4 には、左右一対のフック 13 のうち左側のフック 13 が左外側の取付け領域 31 a の中段の係合凹部 33 c に対して装着されると共に、右側のフック 13 が右外側の取付け領域 31 b の中段の係合凹部 33 c に対して装着された状態を示す。

【 0 0 3 2 】

第 3 実施形態によれば、フック 13 を各取付け領域の係合凹部 33 a ~ 33 e のいずれに対し装着するかによって、各フック 13 の高さ（つまり受皿部の上縁からフック 13 までの垂直距離）を調節することができる。このため、運搬容器としてのドル箱 20 のタイプが種々変化しても、そのドル箱 20 に適したフック 13 の高さを適宜設定することができる。

【 0 0 3 3 】

また、左右一対のフック 13 をどの取付け領域に装着するかによって、両フック 13 間の間隔（水平距離）を調節することができる。このため、ドル箱 20 の全長（又は幅）が種々変化しても、そのドル箱 20 に適したフック間隔を適宜設定することができる。例えばフック 13 を装着する取付け領域として、図 4（A）に示すように左右外側の取付け領域 31 a, 31 b を選択すれば、全長の長いドル箱 20 に対応でき、左右内側の取付け領域 32 a, 32 b を選択すれば、全長の短いドル箱 20 に対応できるといった具合である。

【 0 0 3 4 】

尚、図 4 では、受皿部 12 側に設けられた係合部を凹部 33 a ~ 33 e とし、フック 13 側の係合部を凸部 13 a としたが、受皿部 12 とフック 13 とにおける凹凸関係を逆転させて構成することも可能である。

【 0 0 3 5 】

（第 4 実施形態）

上記第 1 ~ 第 3 実施形態では、スロットマシン本体 10 に設けられた受皿部 12 の前側面 12 a 上にフック 13 を設けたが、これらとは異なり、受皿部の前側面 12 a を構成する壁部の一部を開閉可能な可動壁とし、その可動壁の上に係合手段としてのフックを設けてもよい。この第 4 実施形態では、図 5（A）~（D）及び図 6 に示すように、受皿部の前側面 12 a を構成する壁部の一部を切り欠き形成し、その切り欠き部 15 に可動壁 40 を開閉回動可能に装着している。

【 0 0 3 6 】

図 6 に示すように、可動壁 4 0 はやや長尺で厚みのある板状をなしており、その左右両側には回動軸用の軸孔 4 1 (一方のみ図示) が形成されている。この可動壁 4 0 の裏面 4 0 a (図 6 では上面として図示) には可動壁の上端寄り位置において、左右一对のフック 1 3 が突設されている。また、可動壁の裏面 4 0 a であって可動壁の左右両端位置には、略扇形の支持部 4 2 がそれぞれ突設され、各支持部 4 2 には、規制部としてのストッパ部 4 3 が付与されている。各ストッパ部 4 3 は、第 1 の規制面 4 3 a と第 2 の規制面 4 3 b とを有している。そして、図 5 (A) ~ (D) に示すように、可動壁 4 0 は、受皿部 1 2 の切り欠き部 1 5 に対し回動軸 1 6 を介して開閉回動可能に装着されている。

【 0 0 3 7 】

図 5 (A) 及び (B) に示すように、可動壁 4 0 が閉じた状態の場合には、各ストッパ部の第 1 の規制面 4 3 a が受皿部 1 2 の前側壁部 (裏側面) に当接して、可動壁 4 0 が受皿部 1 2 の内側に倒れ込むのを規制する。また、図 5 (A) に示すように、受皿部の前側面 1 2 a には、スライド式の開閉スイッチ 1 7 が設けられ、この開閉スイッチ 1 7 を閉じ位置に配置することで、可動壁 4 0 が受皿部 1 2 の外側に倒れ込むことが規制されている。つまり、図 5 (A) 及び (B) に示す状態では、ストッパ部の第 1 の規制 4 3 a 及び開閉スイッチ 1 7 の双方による回動規制作用により、可動壁 4 0 は直立保持されて切り欠き部 1 5 を塞ぐ閉位置に位置決め配置されている。

【 0 0 3 8 】

開閉スイッチ 1 7 を外すと (開放位置に配置すると)、図 5 (C) 及び (D) に示すように、可動壁 4 0 を受皿部 1 2 の外側に倒すことが可能となる。この状態では、各ストッパ部の第 2 の規制面 4 3 b が受皿部 1 2 の前側壁部 (裏側面) に当接して、可動壁 4 0 が受皿部 1 2 の外側に更に倒れ込むのを規制する。即ちストッパ部の第 2 の規制 4 3 b による回動規制作用により、可動壁 4 0 が前記閉位置から 90° を超える回動が規制され、切り欠き部 1 5 を開け放つ開位置に位置決め配置される。その結果、可動壁 4 0 が水平状態に保持されて可動壁の裏面 4 0 a が鉛直上方を向くと共に、開放された切り欠き部 1 5 の前方において両フック 1 3 が直立配置され、これらのフック 1 3 に対して運搬容器としてのドル箱 2 0 を引っ掛け保持することが可能となる。なお、ドル箱 2 0 を引っ掛け保持する必要がないときには、可動壁 4 0 を閉じると共に開閉スイッチ 1 7 を閉じ位置に戻せばよい。

【 0 0 3 9 】

第 4 実施形態によれば、開位置に倒した可動壁 4 0 のフック 1 3 に対してドル箱 2 0 を引っ掛け保持することにより、前記第 1 ~ 第 3 実施形態と同様、遊技者の肉体的苦痛をなくすることができる。加えて、受皿部の前側面 1 2 a を構成する壁部の一部を開閉式とすることで、受皿部 1 2 内にある遊技媒体をドル箱 2 0 に移す際の障壁が無くなり (又は障壁が低くなり)、遊技媒体の移し替えを容易且つ迅速に行うことが可能となる。また、第 4 実施形態によれば、ドル箱 2 0 を引っ掛け保持する必要があるときだけ可動壁 4 0 を倒してフック 1 3 を引き出せば良く、ドル箱 2 0 を保持する必要がないときには可動壁 4 0 を閉じてフック 1 3 を受皿部 1 2 内に収めることができる。従って、前記第 2 実施形態と同様、フック 1 3 の非使用時においてフック 1 3 が邪魔になったり、遊技者の衣服がフック 1 3 に引っ掛かったりすることがない。

【 0 0 4 0 】

(その他の実施形態等)

上記の各実施形態では、フック 1 3 を左右一对としたが、フックを 3 つ以上の複数個としてもよい。あるいは図 7 に示すように、係合手段としてのフック 1 4 をドル箱 2 0 の長さにはほぼ匹敵する長さのレール状に形成し、単一のレール状フック 1 4 でドル箱 2 0 を引っ掛け保持可能としてもよい。

【 0 0 4 1 】

尚、本発明をパチンコ機や、パチンコ機とスロットマシンとを融合した融合型遊技機等に具体化してもよい。

【 0 0 4 2 】

【 発明の効果 】

以上詳述したように本発明によれば、受皿部から運搬容器への遊技媒体の移し替え作業を楽にすることができる。

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 第 1 実施形態の受皿部及びその周辺を側方から見た図。

【 図 2 】 第 1 実施形態の受皿部及びその周辺を上方から見た図。

【 図 3 】 第 2 実施形態の受皿部を側方から見た図であり、(A) はフックの非使用時を示す図、(B) はフックの使用時を示す図。

【 図 4 】 第 3 実施形態の受皿部を示し、(A) は正面から見た図、(B) は A - A 線での断面図。

【 図 5 】 第 4 実施形態の受皿部を示し、(A) は閉位置にある可動壁を上方から見た図、(B) は X - X 線での断面図、(C) は開位置にある可動壁を上方から見た図、(D) は Y - Y 線での断面図。

【 図 6 】 第 4 実施形態における可動壁の斜視図。

【 図 7 】 その他の実施形態の受皿部及びその周辺を上方から見た図。

【 符号の説明 】

1 0 ... スロットマシン本体、1 2 ... 受皿部、1 2 a ... 受皿部の前側の一側面、1 3 ... フック(係合手段)、1 4 ... レール状フック(係合手段)、1 6 ... 回動軸、2 0 ... ドル箱(運搬容器)、2 1 ... ドル箱上縁の返し部、3 3 a ~ 3 3 e ... 係合凹部(係合部)、4 0 ... 可動壁、4 3 ... ストッパ部(規制部)、4 3 a ... 第 1 の規制面、4 3 b ... 第 2 の規制面。